

さんさんヒストリア
「大阪市立美術館リニューアル記念特別展
日本国宝展」 第2回(後半)

ツアー参加申し込みの21名の皆さんに、最終のご案内を申し上げます。

参加者 (21名) 敬称略します。

安居院、稲垣、小林章三、小林猛、塩路弘子、清水、高濱、辻井、天王寺谷、榎本、松山、
光長、山口克彦、山崎、北島、塩路伸世、能木場、林慶子、林美稚子、吉田、森田

まず最初に、行程(集合時間)が変更になりましたのでご注意ください。

また確認のため、このメールが着き次第、必ず返信をお願いします。

前は美術館開館と同時に入館する予定でしたが、大変混雑していて大幅に遅れたため、今回は先に「青いナポリ」で昼食した後、入館することにしました。

- 行程： 6月4日(水) JR 芦屋駅改札口 10時20分集合
芦屋 10:36—10:52 大阪着→(環状線)1番線 10:58 発—11:13 天王寺着 歩いて5分
11:30 昼食 AOINAPOLI IN THE PARK (青いナポリ イン ザ パーク)
天王寺公園内 Tel: 06-6773-2225
パスタ定食またはピザ定食または、何人かでシェアも可能です。
スープ・サラダはついていますが、飲み物は個人払いをお願いします。
12:30 頃に入館予定 観覧時間は2時間くらいかかります。
- 会費： 4,000円 食事代、国宝展観覧料(2,200円前売券)含む 交通費別
但し、観覧券持参の辻井さん、山崎さんは1,800円です。
会費は、当日に塩路弘子さん、山崎昌子さん、松山がそれぞれ集金します。
- キャンセルについて： 観覧前売券(2,200円)を購入しておりますので、前売券はキャンセルできません。購入した観覧前売券は会期中6月15日まで使用できます。
- 本展はおよそ130件もの国宝が一堂に集まります。生み出された時代を表す鏡でもある美術工芸品、そしてその頂点とも言うべき国宝を通じて日本の美の歴史を辿る、稀有にして贅沢な機会となることでしょう。また、前回もめったに拝観することのできない国宝ばかりでしたが、後半特に今回の目玉として、数点あげてみます。
雪舟「四季山水図巻」「天橋立図」「慧可断臂図」一気に三点。今後まずないでしょう。
狩野永徳「唐獅子図屏風」。「松浦屏風」。尾形光琳「燕子花図屏風」。「縄文のビーナス」
縄文土器国宝第1号。「薬師寺・聖観音像」後ろも拝見。「伝頼朝像」。「青磁鳳凰磁花生」。
「日月四季山水図屏風」金剛寺蔵、謎の屏風絵としてNHKも取り上げた作品。そして、
皇居三の丸尚蔵館収蔵品「海野勝民作太平楽置物」他 時間がいくらあっても足りません。
- 元気な人は、徒歩5分で「慶沢園(旧住友家茶白山本邸庭園)」(入場料300円)があります。前は休館でしたが、今回は開館しています。